



## 9/22 優雅な音色に包まれて (成羽美術館)

「第24回月見の宴」(なりわ観光協会主催)が成羽美術館で開かれ、市内外から多くの人々が訪れ、優雅なひとときを過ごしました。「流水の庭」に設けられた特設ステージでは、琴や尺八、三味線などの演奏が行われ、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。水上に飾られたススキやかがり火が、秋風にゆらめく中、訪れた人たちは雅の世界に引き込まれていました。

## 9/21・22 吹屋小唄に優美な踊り (成羽町吹屋)

「吹屋ベンガラ灯り」(中野吹屋青年団主催)が吹屋ふるさと村で行われ、市内外から多くの人々が訪れました。通りにはベンガラ焼きの灯籠が150個以上並べられ、暮れゆく伝統的な町並みを幻想的に照らし出しました。22日は地元出身の水野由美さんが作詞作曲した「吹屋小唄」に合わせた創作踊りが披露され、ベンガラ染めの浴衣を着て踊る姿が町並みの魅力をさらに引き立てていました。



## 9/25 交通ルールを守ろうね (成羽町下原)

9月21日(金)～30日(日)の間に実施された秋の交通安全県民運動に合わせ、「交通安全パレード」(市交通安全対策協議会主催)が行われました。「交通ルール 守って広げる 無事故の輪」のスローガンのもと、鶴鳴・成美保育園の園児と長寿クラブの会員の約120人が参加し、最重点目標である、子どもと高齢者の交通事故防止を願って元気いっぱいパレードしました。

▼第2回ヒルクライム大会も大盛況に終わりました。私は、広報マンとしての仕事をしながら、おもてなし隊としてイベントにも参加するという2日間でした。大会終了後も余韻に浸る間もなく、広報紙の作成に追われましたが、会場や沿道でのさまざまなおもてなしに、選手から多くの感謝の声を聞き、疲れを癒してくれています。(KH)  
▼取材先でごみに関する話を聞く中で、自分たち一人一人の意識を高めていくことの大切さを再認識しました。ヒルクライム自転車レース大会の会場でも、舞台裏では子どもたちがごみを拾ってくれていました。また、市内でも散歩にあわせてごみを拾っている方に会います。皆さんを見習って私もごみ拾いを心掛けたいと思います。(TK)  
▼秋の行楽シーズンを迎え、市内でも多くのイベントが開催される予定です。イベントは多くの方が携わり、また支え合いながら開催されています。来場される人たちのため、地域のため、いろいろ理由はありますが、そこには頑張っている人たちがいます。そんな人たちにカメラを向け、皆さんにお届けできればと思っています。(KY)



編集後記

# カメラあらから

Camera A la carte

まちの  
出来事



## 9/9 恐竜がまちにやってきた (紺屋川周辺)

「第37回愛らぶ高梁ふれあい広場」(高梁市青年経済協議会主催)が行われ、多くの家族連れらでにぎわいました。「恐竜」がテーマの今回、ご当地ヒーローピッチュマンショーでは、悪者がくわだてる「邪心竜」誕生計画に立ち向かうストーリーで、子どもたちは大興奮。また、砂場での化石探しや3D映像による恐竜の動きや大きさの体感コーナー、実物大の恐竜フィギュアの設置などこだわりぬいた内容で、会場は大いに盛り上がりました。

## 9/15・16 一生の思い出に残る運動会 (湯野小学校)(平川小学校)

本年度で閉校する湯野小学校、平川小学校で、最後となる運動会が開催されました。湯野小学校では、湯野地区連合運動会として地域住民や卒業生ら約200人が参加。大旗を掲げて走るリレー、玉入れなどで住民らと競いました。全校児童9人全員が一つのチームになって行った玉入れでは、全員が協力しあい一生懸命取り組む姿に、会場からは温かい拍手が送られました。やわらかな秋の日差しの中、最後の運動会の思い出を地域住民らとともに胸に刻みました。



また、平川小学校の運動会には、全校児童9人をはじめ地域住民や卒業生ら約300人が参加。また、天満屋陸上部の3選手も応援に駆けつけ、26のプログラムを行いました。なかでも児童全員が一輪車に乗り、手をつないで走る演技には、観客から大きな拍手が送られました。平川小学校は湯野小学校とともに、来年度から富家小学校に統合されます。